



快晴で気持ちの良いお正月でしたね。
わかばの子どもたちは七草がゆに始まり、まゆだまづくり、どんど焼きと
伝統行事を楽しみました。



「これ、なんの草かなー？」七草切り



「でんきみたーい」まゆ玉作り

お正月飾りなどを火にくべ焼き払う際、高く上がる炎を見たり、書初め
が舞い上がると歓声が上がりました。炎の中で半紙がクルクルと渦を巻い
ているのを見て「踊ってる～」と子どもたち。今時園庭でたき火を楽しめ
る環境をありがたく思います。今年も、健康に笑顔で過ごせる1年になる
ことでしょう。

子どもたちは、羽子板、凧揚げなど寒くても園庭に飛び出し走り回っ
ています。大きいクラスの子もたちは、この時期でもすぐに、半そでにな
り見ている私が寒くなります。

でかぞうさんは、コマ回しが流行り出し、みな盛んに挑戦中です。



「わぁーあつい！」どんど焼き



「そっちのコマの方がつーい」

早いもので卒園式まであと2ヶ月となり、卒園の取り組みも始まりまし
た。わかばの卒園式は「どんな自分を披露したいか?」「見てもらいた
いか?」保育士と子どもたちと話し合っています。

わかばで過ごしてきた様々な経験、そこでつけてきた自信をどのように
表現するのか、楽しみです。

わかば保育園園長 伊佐治由紀



一年で最も厳しい寒さが過ぎ、これからは陽が次第に長くなり春へ向かう
時期。このお便りが届く頃にはきっと春の兆しが現れ、地面の下では春の準
備が始まっていることでしょう。子どもたちは身も心も膨らんで一つ大き
くなる準備に向かっていきます。子どもたちの成長を職員一同温かく見守っ
ていきたいと思ひます。
新杉田のびのび保育園園長 山中あけみ

～エピソード～ 保育士と一緒に園庭で影遊びを楽しんでいた時のこと
です。「私（保育士）の影踏んでみて」と言って走り回っていると半田律ちゃん
が「ねえねえ、かねこせんせい はんだりっちゃんのかげがおいかけてくるよ。
なんで?」その言葉を聞いてじゅっちゃんも「なんでだろうね。どうしてか
なあ?」。そういえば何故影が動いて追いかけてくるのか?自分自身は不思議
に感じたことはなく、当たり前のことだと思っていたのです。その時子ども
の着眼点にはっとしました。子どもと同じように「不思議だな。どうしてな
のだろう?」と思い、その不思議と一緒に楽しめるようになりたいと考えた
出来事でした。

自然の中の不思議な出来事にたくさん出会うためにも外遊びや園外保育の
機会を増やしていけたらいいなと考えています。

(2歳児担任 金子昌実保育士 2年目)



影絵遊び この形はなんだろう?



「まてー」影を追いかけて、影に追いか
かれて不思議がる子ども達。



獅子舞 1月の誕生会は獅子舞。
獅子に頭を噛んでもらって喜ぶ子ども達。



絵本作り 絵も物語もオリジナル。くじら
組のマイ・ブームになっています。



早いもので4回目のお正月を迎えました。笹下保育園は周りがすべて坂道
なので、雪が降ると大変です。年末年始寒波が到来とあって心配をしていま
したが、水道も凍らず穏やかなお正月となりました。



保育室がお茶室に早変わり



しっかりお作法を学んだ年長児

今年初めて、お茶会を催しました。辻村先生と道下保育士の着物姿に、
うっとり子どもたちです。初めての試みでしたので、「くま組は座ってい
られるかしら…」と、不安だったのですが、子どもたちは神妙な面持ちでお
作法を学んでいました。そして、甘いお干菓子も頂き、「おいしかった!苦くな
かった!」着替えた道下保育士には、「何で戻っちゃったのー」と残念そうな
子どもたちです。



年長児のおもてなしを受ける年中児は
神妙な面持ち



手作りのお獅子 ちょっとこわいけど頭をバク!

獅子舞は、恒例の行事です。手作りのお獅子の中に入っているのは、齋藤
保育士と與儀保育士です。みかんをたべさせたら皮がでてきてびっくり。小
さい子は恐ろしがらるばかりですが、大きい子はしっかり頭を噛んでもら
って無病息災をお祈りしました。もうすぐ春がやってきて、進級・就学を迎
えることを、みんな楽しみにしています。



笹下保育園園長 五十嵐 樹